

おるく



2022年12月26日(月)

自分で考え、自分で判断する冬休みに

今日で後期前半が終わり、明日からは2週間の冬休みに入ります。夏休みからの今日までの期間を考えても本当にいろいろなことがありましたね。

先日の学年レクでは、級長会（尾関智哉さん、下澤羽月さん、仙田大晴さん、殿垣内稀美さん、片岡駿仁さん、桂川日向さん、小田創心さん、末広玲依さん）が中心となって「早押しクイズ大会」を行いました。「アニメ・マンガ」、「ゲーム・映画・ドラマ」、「スポーツ」、「音楽・イントロ」と4つの部門を設け、自分の得意な分野を選んでクイズに臨みました。学年の仲間が、どんなことが好きかを知り、互いに好きなことを誇らしく語る姿を見合えたらいいなあという思いで企画したレクでした。想像以上にどの教室も白熱していましたね。自分の知っている問題が出題されたときや正解したときの笑顔は、普段、休み時間に仲の良い友達と話しているときのそれを感じさせるものでした。その反対に、必死に早押しボタンを連打する姿や、他のクラスに解答権を奪われたときなどには、机を叩いて悔しがったり、地団駄を踏んだりする姿がありました。本当に好きなのだなと感じ、見ている側としてはほっこりした気持ちになりました。こうした時間が生み出したのは、級長会のメンバーが、朝早くや昼休みの時間を使って集まったり、空いている時間を使って問題を一生懸命準備したりしてくれたからです。もちろん、人数の関係で全員が自分の好きな部門に参加できたわけではありませんし、そうした人たちの協力があって成り立ったレクだったと思います。多くの人たちが「楽しかった」と言ってくれたことが、級長さんたちの喜びに繋がったようでした。自分たちだけで創り上げた学年レク。大きな自信になったと思います。

実は、学年レクの裏で、稀美さんと日向さんには来年度入学してくる6年生に向けて、「漫才」という形でメッセージ動画を撮ってもらっていました。（時間の都合でまだ1年生のみんなには見てもらえていません。）「漫才」にしたのは、西可児中が楽しいことを自分たちで考えて行うことができる学校だということを伝えるためです。もちろん、メッセージには西可児中学校で生活する中でみんなが大事にしている「自分で考える」ということを中心に話してもらいました。自分で考え、自分で判断し、自分で表現する。これが「ひとりだち」に向けてつけていきたい力だからです。

学年レクや音楽会に向けた合唱練習に代表されるように、自分たちで時間の使い方を考え、自分たちの手で進められることが増えてきたと思います。後期後半では、「ひとりだち」に向けて、一層そうした姿を増やしていきたいと思います。

さて、明日からの冬休みに向けて、学年集会の中で先生達が話したことを下に載せておきます。是非、保護者の方と一緒に考えてみて下さい。

【生活面】

- 早寝早起き、規則正しい食習慣をできるだけ維持しましょう。見たいテレビや特別なイベントが遅い時間まであるときです。不規則な生活が習慣にならないように気をつけましょう。
- 普段よりも多くのお金を手にすると思います。使い方を考えることに加え、犯罪に巻き込まれることがないようにしましょう。
- 家での自分の仕事を確認して継続的にやれるようにしましょう。

【学習面】

- 冬休みが明けると1ヶ月後に学年末テストがあります。範囲表はまだ出ていませんが、これまで学習してきた内容については確実に出ます。前号に掲載したポイントに沿って学習を進めましょう。

1年生として生活するのもあと3ヶ月です。2年生になるために、目標を立てて、1年のスタートを迎えましょう。とはいえ、まずは、元気でいられることが1番です。健康で安全な生活を心がけて下さいね。